

Copyright (c) 2008-2009 Brother Industries, Ltd.

# QL-580N

## Linux Printer Driver Manual

Apr 10, 2009  
Version 1.1

Brother Industries, Ltd., ES Development dept.

## 目次

1.	概要 .....	1
1. 1.	はじめに.....	1
1. 2.	動作環境.....	1
1. 3.	動作確認環境 .....	2
2.	インストール方法 (RPM系、Debian系) .....	3
2. 1.	インストール手順(Fedoraの画面をベースに説明します).....	3
2. 2.	QL-580Nプリンタのネットワーク設定方法について.....	12
2. 3.	Linuxディストリビューションの設定に関する注意事項.....	16
2. 4.	アンインストール手順.....	16
3.	アプリケーションを用いてラベルを作成する.....	17
3. 1.	アプリケーション(OpenOffice.org)の使用について.....	17
3. 2.	アプリケーション(OpenOffice.org Writer、Calc)からの印刷方法 .....	17
Appendix A.	プリンタのプロパティ .....	18
Appendix B.	用紙(ラベルフォーマット)の追加方法.....	21
Appendix C.	Open Office.org Writer、Calc用テンプレートについて .....	22
C. 1.	Open Office.org Wrier、Calc用テンプレートについて.....	22
C. 2.	用紙サイズ .....	23
Appendix D.	QL-580N用Linuxドライバのファイル構成について .....	26
D. 1.	インストーラのファイル構成.....	26
D. 2.	ドライバのファイル構成について.....	26
Appendix E.	その他.....	28
E. 1.	MFC対応Linuxドライバについて .....	28

## 1. 概要

### 1. 1. はじめに

本マニュアルは、QL-580N ラベルプリンタ対応 Linux ドライバに関する資料です。

QL-580N ラベルプリンタ対応 Linux ドライバは、以下の 2 種類のドライバにより構成されています。

#### [1]LPR 用ドライバ

LPD プリントサービスを使った Linux システムで、印刷機能を使用することができます。

#### [2]CUPS Wrapper ドライバ

LPR 用ドライバを CUPS ドライバとして動作させる CUPS Wrapper ドライバです。

CUPS Wrapper ドライバをインストールする前に、LPR 用ドライバのインストールが必要です。

異なる単位系に対応するため、mm 単位表示版 CUPS Wrapper ドライバと、inch 単位表示版 CUPS Wrapper ドライバをそれぞれ提供します。

本ソフトウェアは、お使いの Linux ディストリビューションへ、該当する上記のドライバファイルを自動的にコピーするインストーラパッケージを用意しています。

#### Notes .....

- 現在ご提供できるドライバは、英語表記のみです。
- 本マニュアルの内容については、お客様の利用環境において、当社製品の Linux 上での動作を保証しているものではありません。
- 本マニュアルの内容について、当社ではいかなる保障もしておりません。導入および運用等は、ご利用になるお客様ご自身の責任において行なっていただけますようお願いいたします。

### 1. 2. 動作環境

ドライバ	QL-580N
インターフェース	USB ポート (USB1.1 以降対応) シリアルポート (RS-232C) ネットワークポート (10/100 BASE-TX Wired Ethernet)
コンピュータ	IBM PC または互換機 (CPU アーキテクチャ : x86)
Linux ディストリビューション	RPM 系、DEB 系 (詳細は 1.3 参照)

### 1. 3. 動作確認環境

各種 Linux ディストリビューションにおける QL-580N の動作確認環境は以下のとおりです。

Linux ディストリビューション	
RPM 系	Red Hat Linux 9
	Fedora 8
	Fedora 9
	Fedora 10
Debian 系	Ubuntu 8.04
	Debian GNU/Linux 3.1r1(sarge)
	Debian GNU/Linux 4.0(etch)

Notes .....

— 但し、ここで提供する情報はお客様の環境で同様の結果が得られることを保証するものではありません。  
また掲載している内容については、当社が保証するものではありません。

## 2. インストール方法 (RPM 系、Debian 系)

### 2. 1. インストール手順 (Fedora の画面をベースに説明します)

QL-580N ドライバを例としてインストール手順を説明します。

[1] 適当なディレクトリに「LPR 用ドライバ」と「CUPS Wrapper ドライバ」を用意してください。

[2] ルートユーザでログインしてください。もしくは、su コマンドを使用してルート権限を取得してください。



[3] 「LPR 用ドライバ」をインストールしてください。

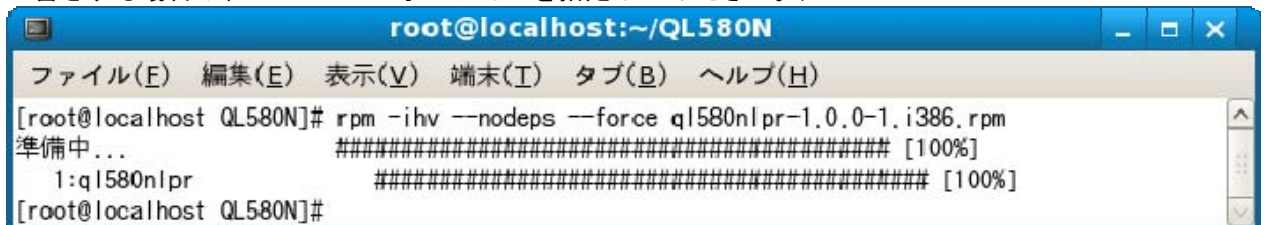
・Debian (Debian 系) ユーザーの場合 :

```
dpkg -i --force-all ql580nlpr-1.0.0-1.i386.deb
```

・Fedora Core (RPM 系) ユーザーの場合 :

```
rpm -ihv --nodeps ql580nlpr-1.0.0-1.i386.rpm
```

(すでにブラザー製 LPR 用ドライバがインストールされている場合、エラーが発生する場合があります。上書きする場合は、“--force” オプションを指定してください。)



[4] 「CUPS Wrapper ドライバ」をインストールしてください。

・Debian (Debian 系) ユーザーの場合 :

[mm 単位表示を使用する場合]

```
dpkg -i --force-all ql580ncupswrapper-1.0.0-1.debian.i386.deb
```

[inch 単位表示を使用する場合]

```
dpkg -i --force-all ql580ncupswrapperinch-1.0.0-1.debian.i386.deb
```

・Fedora Core (RPM 系) ユーザーの場合 :

[mm 単位表示を使用する場合]

```
rpm -ihv --nodeps ql580ncupswrapper-1.0.0-1.redhat.i386.rpm
```

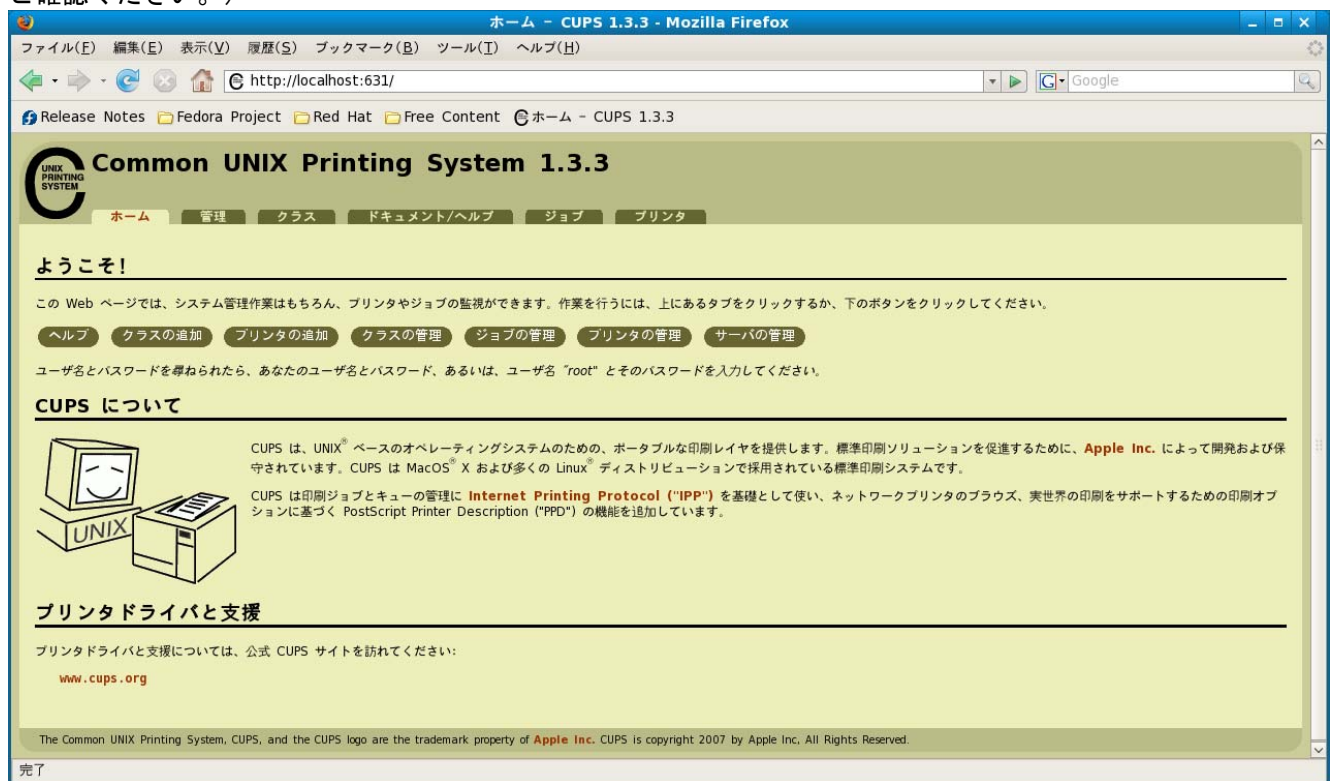
[inch 単位表示を使用する場合]

```
rpm -ihv --nodeps ql580ncupswrapperinch-1.0.0-1.redhat.i386.rpm
```

```
root@localhost:~/QL580N
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(B) ヘルプ(H)
[root@localhost QL580N]# rpm -ihv --nodeps --force ql580nlpr-1.0.0-1.i386.rpm
準備中... ##### [100%]
  1:ql580nlpr ##### [100%]
[root@localhost QL580N]# rpm -ihv --nodeps --force ql580ncupswrapper-1.0.0-1.redhat.i386.rpm
準備中... ##### [100%]
  1:ql580ncupswrapper ##### [100%]
cups を停止中: [ OK ]
cups を起動中: [ OK ]
[root@localhost QL580N]#
```

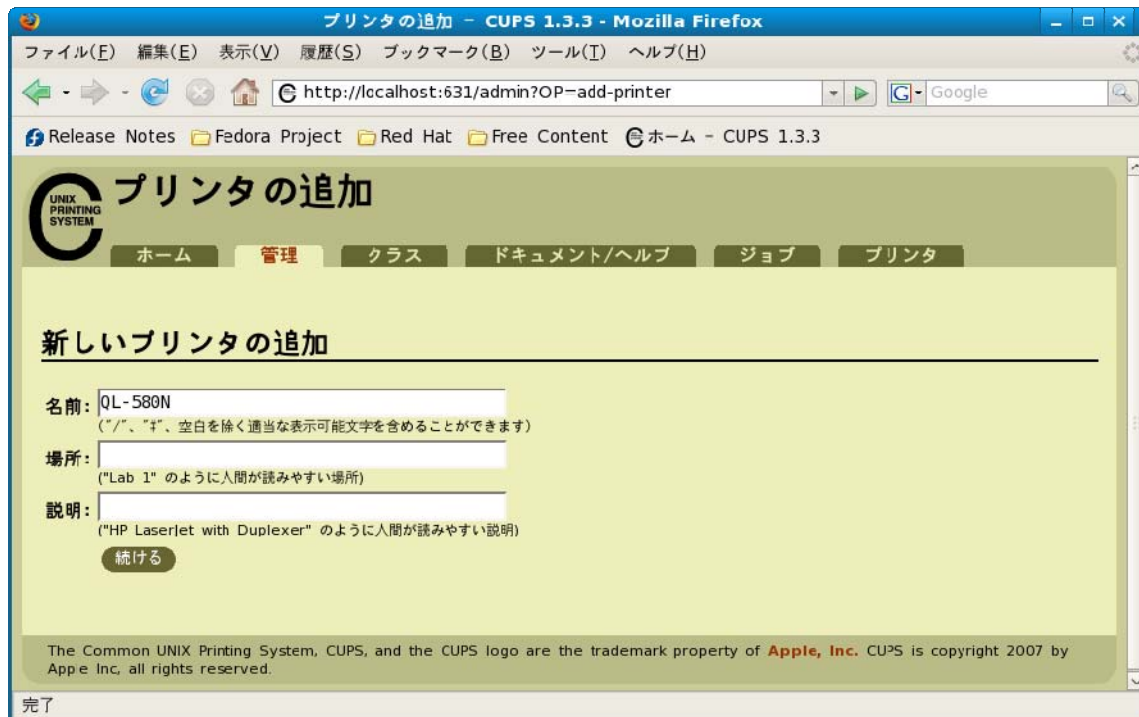
[5] お使いのブラウザを起動し、CUPS Web 管理サイト (<http://localhost:631>) を開きます。

(プロキシサーバーをお使いなら、「ローカルサーバーにはプロキシサーバーを利用しない」の設定をご確認ください。)



[6] **プリンタの追加**をクリックして指示に従ってインストールしてください。

「名前:」に、お使いのモデル名を入力し、任意でLocation/Descriptionを入力して、**Continue**ボタンをクリックします。



(\*)USB 接続により使用する場合は、QL-580N プリンタ本体と PC を USB 接続の上、QL-580N 本体の電源を ON に設定してください。

[7] 次の選択肢から、使用するデバイスおよび接続先を選択します。

[7-1] USB 接続の場合

Device URI を設定するためのポートは、下記の 3 種類があります。所望のポートをご使用ください。

(1) Brother QL-580N USB #1 (Brother QL-580N) を使用する場合

→ 標準の USB ポートを使用して、Device URI が設定されます。

(例) `usb://Brother/QL-580N`



### (2) Brother QL-580N (Brother QL-580N) を使用する場合

→標準の USB ポートおよび QL-580N のプリンタ本体情報を使用して、Device URI が設定されます。

(例) `hal:///org/freedesktop/Hal/devices/usb_device_4f9_2029_E8G837265_if0_printer_noserial`

### (3) Brother USB Printer (Brother QL-580N) を使用する場合

→BRPTUSB という P-touch 専用のポートを使用して、Device URI を設定します。

(P-touch 専用のポートを使用することにより、双方向通信が可能となります。)

印刷エラー情報は、以下のログファイルに記載されます。

`/var/log/cups/error_log`

(ディストリビューションによっては、使用できない場合があります。)

(例) `brusb_q1580n:/dev/usb`

## [7-2] シリアル接続の場合

### (1) Seriap Port #1 (Unknown) を使用する場合

→標準の Serial ポートを使用して、Device URI が設定されます。

### (2) Brother Serial Port #1 (Ptouch QL-580N) を使用する場合

→P-touch 専用のポートを使用して、Device URI を設定します。

(P-touch 専用のポートを使用することにより、双方向通信が可能となります。)

印刷エラー情報は、以下のログファイルに記載されます。

`/var/log/cups/error_log`

(ディストリビューションによっては、使用できない場合があります。)

QL-580N 本体および追加するプリンタのシリアルポートの設定において、ボーレートは 115200 に設定してください。

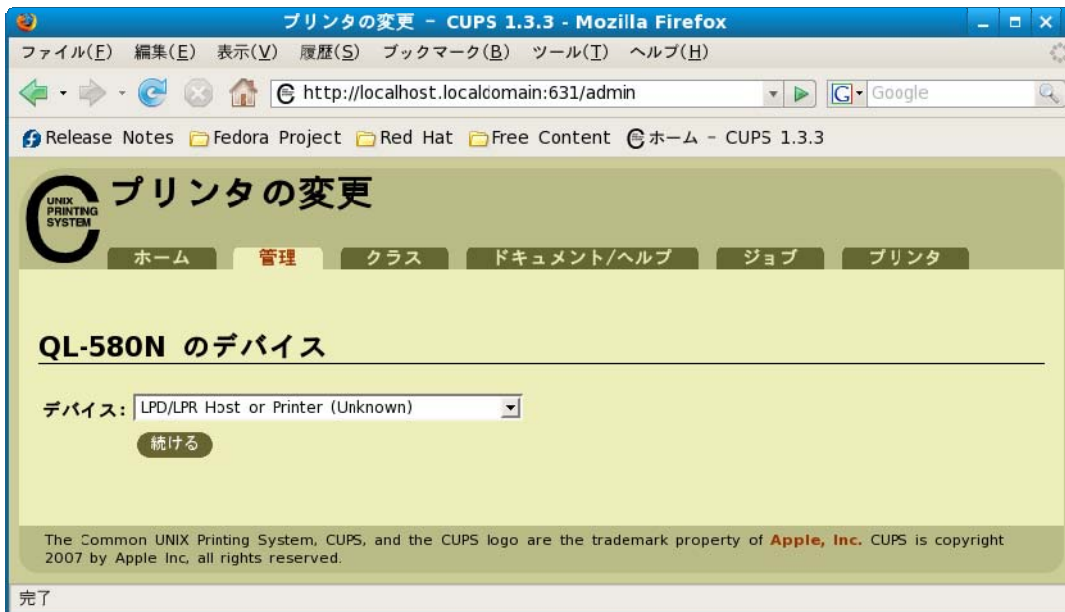
## [7-3] ネットワーク接続の場合

Device URI を設定するためのポートは、下記の 2 種類があります。所望のポートをご使用ください。

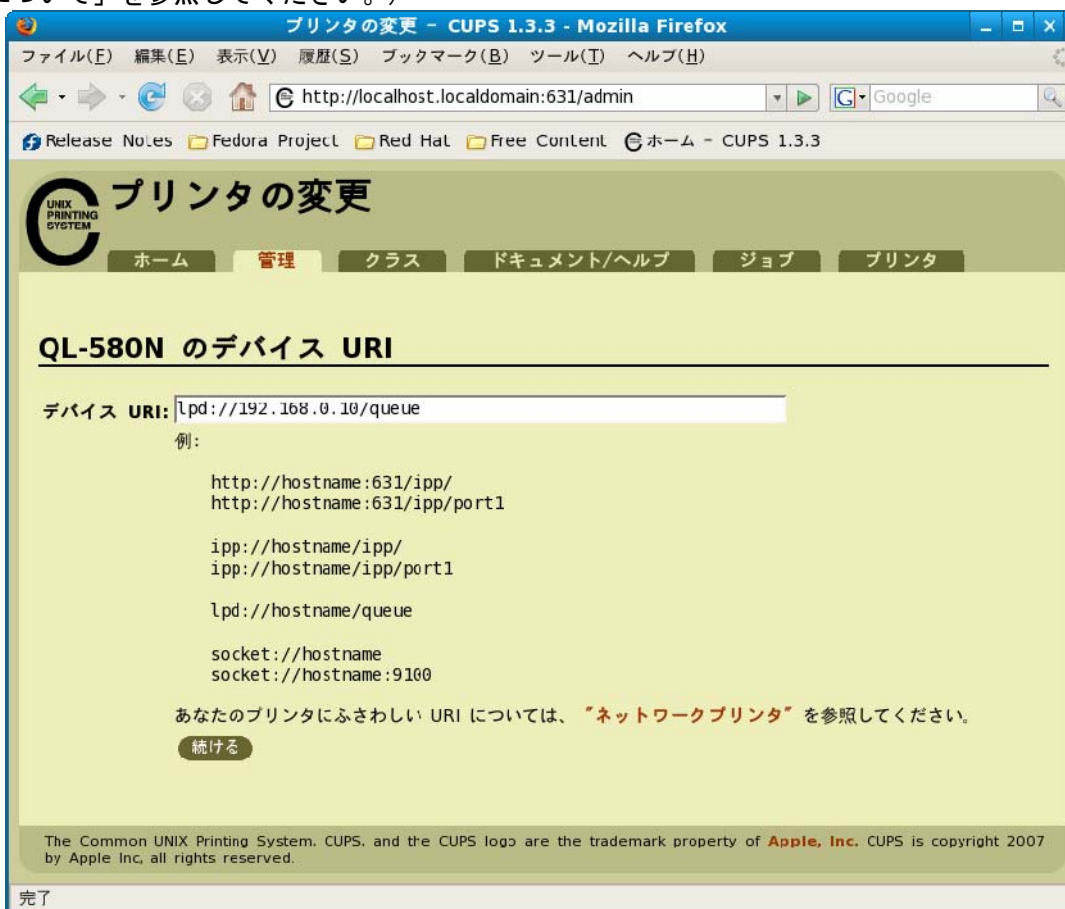
### (1) LPD/LPR Host or Printer を使用する場合

LPD/LPR Host or Printer を選択し、**続ける** ボタンをクリックします。



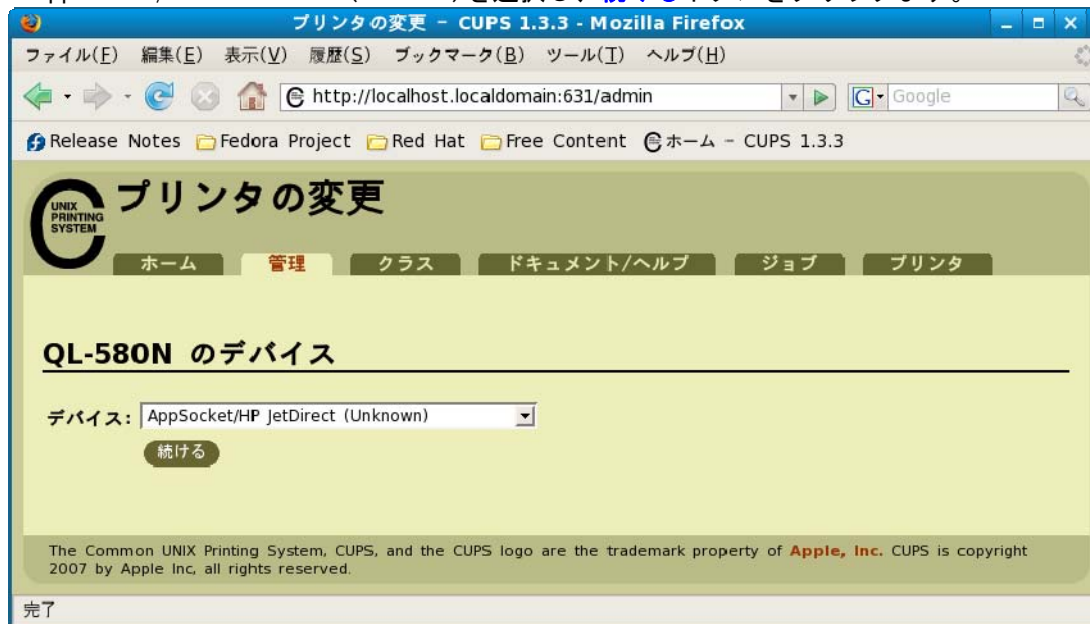


「デバイスURI :」にlpd://「QL-580NプリンタのIPアドレス」/queueを入力し、**続ける**ボタンをクリックします。(QL-580N本体のIPアドレスの設定方法については、「2. 2 QL-580Nプリンタのネットワーク設定について」を参照してください。)

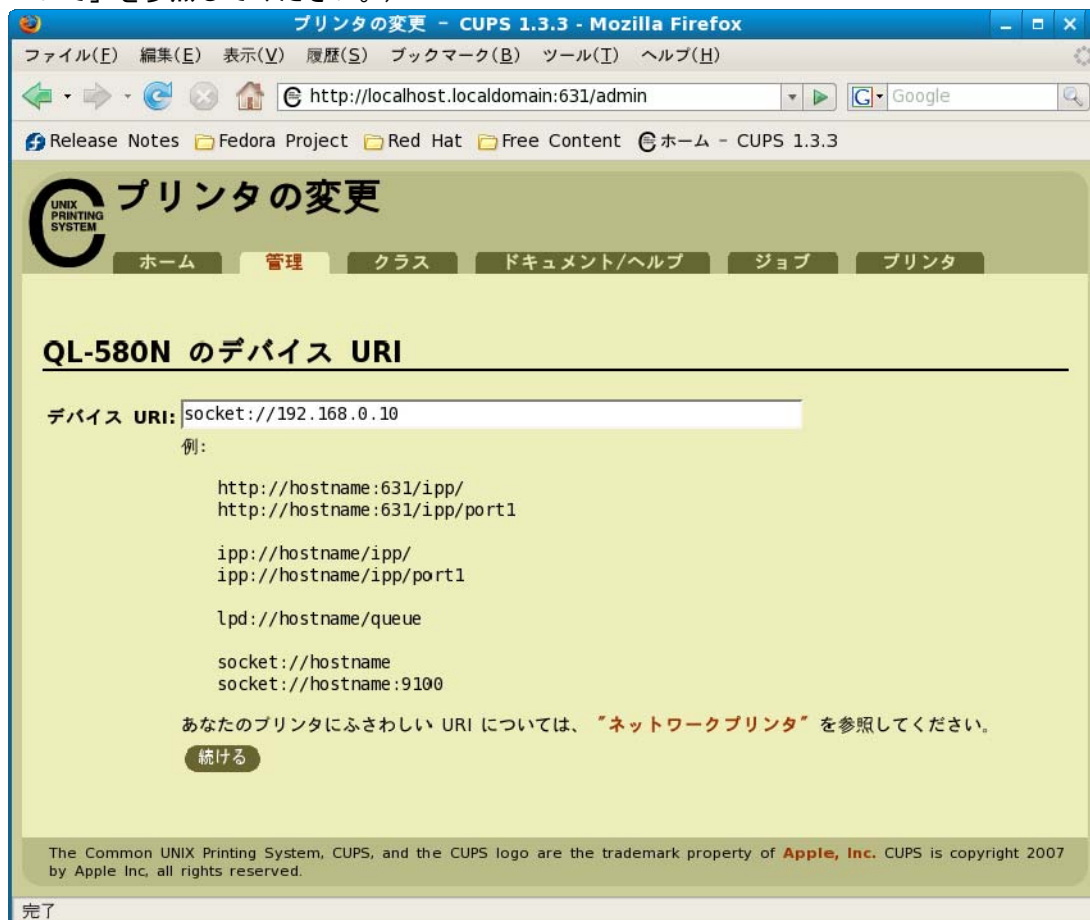


## (2) AppSocket/HP JetDirect (Unknown) を使用する場合

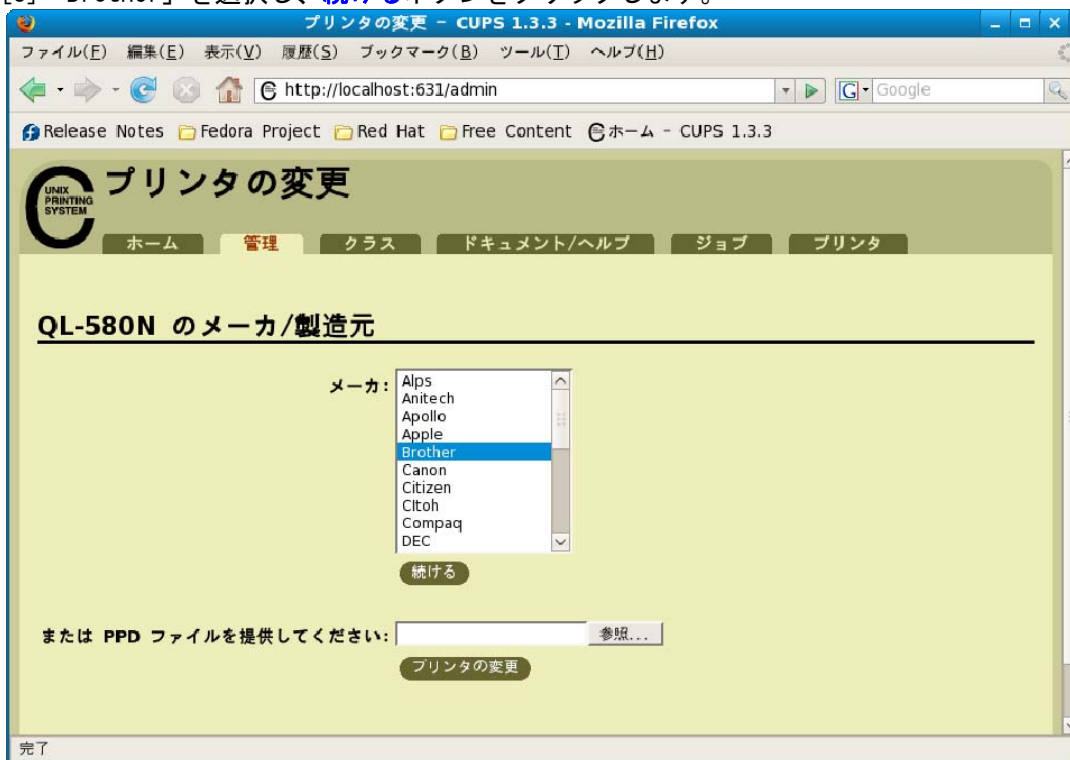
AppSocket/HP JetDirect (Unknown) を選択し、**続ける** ボタンをクリックします。



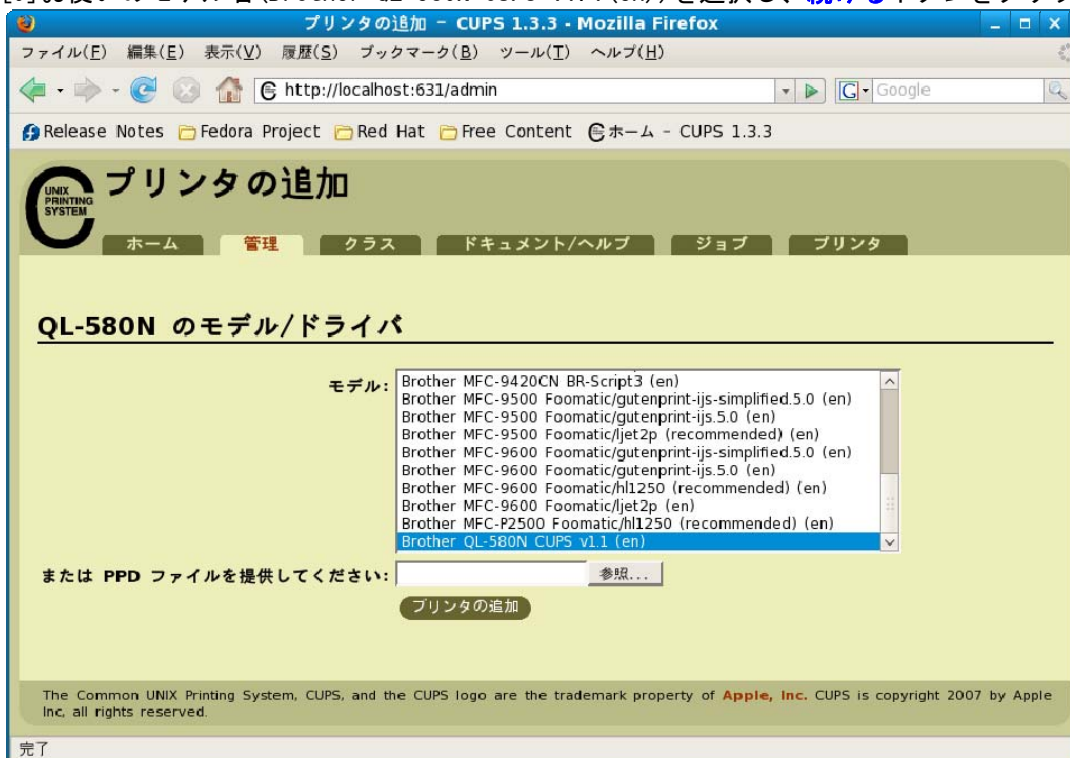
「デバイスURI :」にsocket:// 「QL-580NプリンタのIPアドレス」を入力し、**続ける** ボタンをクリックします。(QL-580N本体のIPアドレスの設定方法については、「2. 2 QL-580Nプリンタのネットワーク設定について」を参照してください。)



[8] 「Brother」 を選択し、**続ける** ボタンをクリックします。



[9] お使いのモデル名 (Brother QL-580N CUPS v1.1(en)) を選択し、**続ける** ボタンをクリックします。

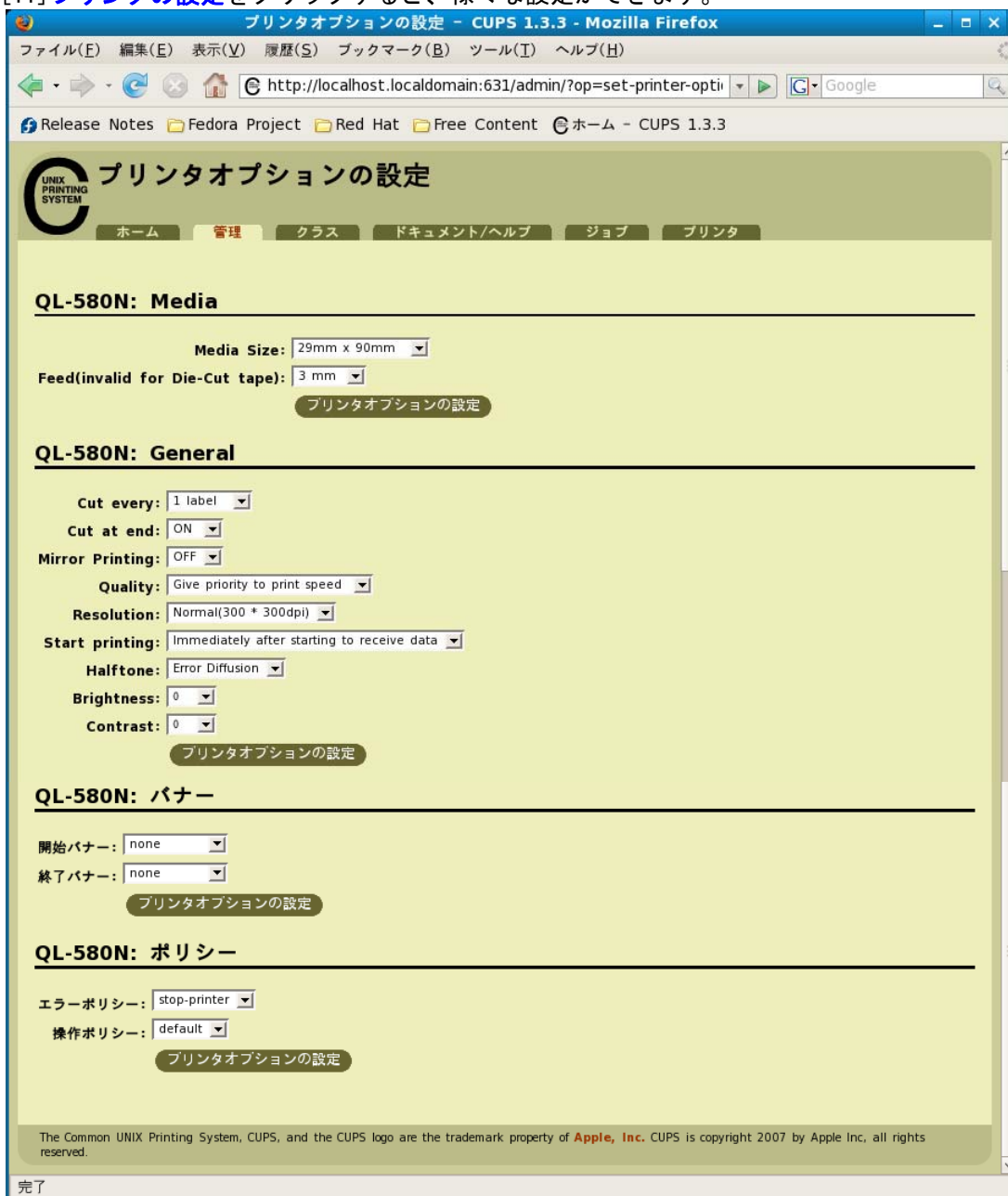


[10] これで、インストールは完了です。

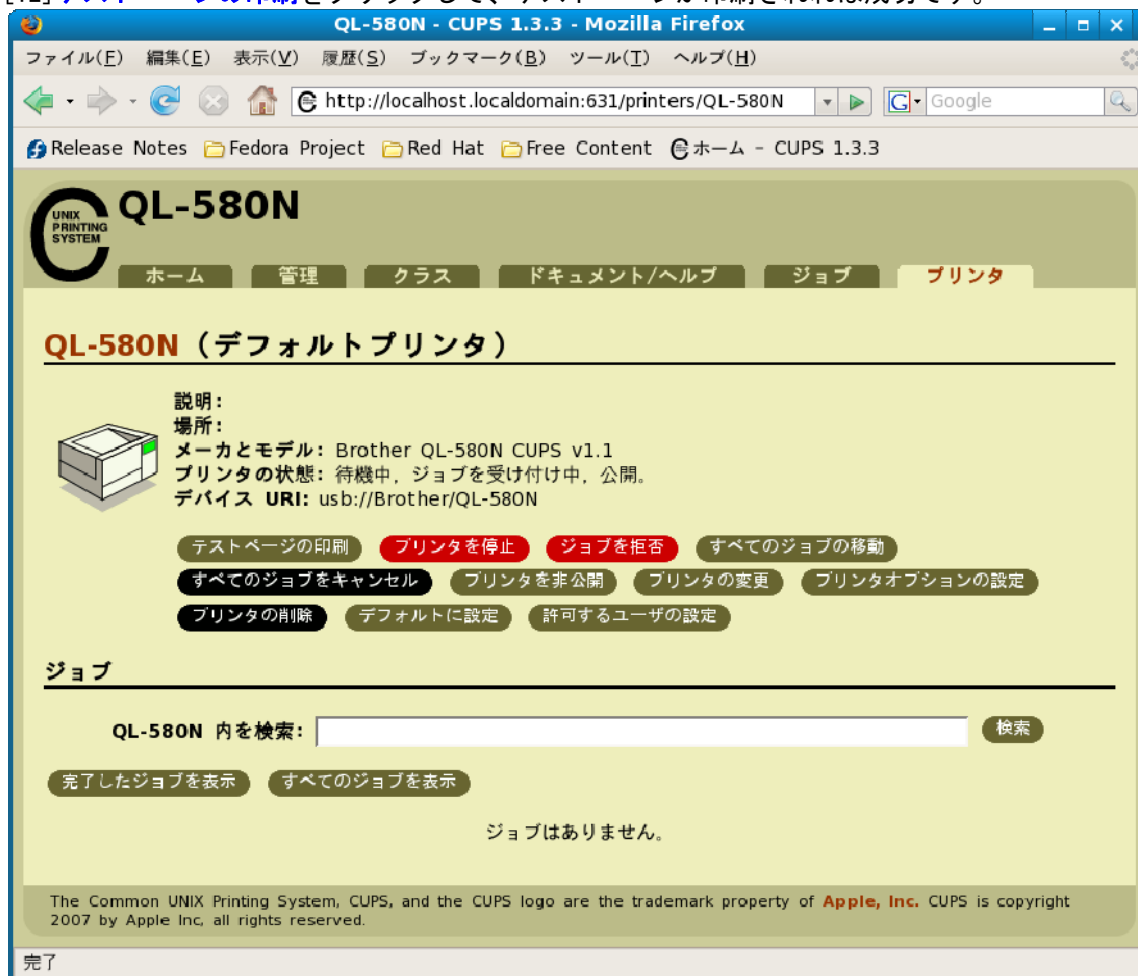
**プリンタ** をクリックすると、プリンタが追加されていることが確認できます。



[11] プリンタの設定をクリックすると、様々な設定ができます。



[12] **テストページの印刷**をクリックして、テストページが印刷されれば成功です。



Notes .....

— CUPS についての詳しい情報は、CUPS Web 管理 ページで 「Help」 をクリックすると、入手することができます。

— Common UNIX Printing System、CUPS、CUPS ロゴは、Apple Inc. の登録商標です。Linux や Apple から CUPS を入手された場合、CUPS についてのご質問は、直接ご入手された先のベンダーまでお問い合わせください。当社では、CUPS についてのサポートは致しかねます。

## 2. 2. QL-580N プリンタのネットワーク設定方法について

### ●BRAdmin Light ソフトウェアで設定する

BRAdmin Light は、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定ができます。

[BRAdmin Light の動作環境]

BRAdmin Light は、Java アプリケーションです。

BRAdmin Light は、バージョン 1.4.2 以上の JRE を要求します。

Linux の Java には、複数の JRE の実装が存在します。java -version のメッセージで確認できます。



```
root@localhost:~  
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(I) ヘルプ(H)  
[root@localhost ~]# java -version  
java version '1.6.0_0'  
IcedTea6 1.3.1 (6b12-Fedora-10) Runtime Environment (build 1.6.0_0-b12)  
OpenJDK Client VM (build 1.6.0_0-b12, mixed mode)  
[root@localhost ~]#
```


Java 環境がインストールされていない場合は、下記コマンドでインストールを行ってください。

(例)

```
sudo apt-get install sun-java6-jre
```

[BRAdmin Light の使用]

[1] ターミナルから java -jar BRAdmin Light.jar を実行して、BRAdmin Light を起動します。



```
root@localhost:~  
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(I) ヘルプ(H)  
[root@localhost ~]# java jar "BRAdmin Light.jar"
```

[2] 新しいデバイスをダブルクリックします。



<メモ>

- ・ ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェースが表示されます。
- ・ プリントサーバのお買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。

[3] 「IP 取得方法」から各種項目を入力し、[OK] をクリックします。

デバイス設定

全般 コントロール ネットワーク

IP取得方法

- AUTO
- STATIC
- DHCP
- RARP
- BOOTP
- APIPA

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

OK キャンセル ヘルプ

## ●ウェブブラウザで管理する

### [概要]

標準のウェブブラウザで、HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) プロトコルを使用して、本製品を管理することができます。

ウェブブラウザは、ほとんどのコンピューティングプラットフォーム上で使用することができますので、Linux のユーザもウェブブラウザを使用して本製品を管理できます。

### <メモ>

- ・ Firefox® 2.0 以降を推奨いたします。
- ・ どのウェブブラウザの場合も、JavaScript およびクッキーを有効にして使用してください。
- ・ ウェブブラウザを使用するには、プリントサーバの IP アドレスが必要です。

[1]ウェブブラウザを起動します。

[2]ウェブブラウザの入力欄に、

http://[IP\_Address]

( [IP\_Address] はご使用になる本製品の IP アドレス) を入力します。

例)

本製品の IP アドレスが 192.168.0.10 の場合は、ブラウザに下記を入力します。



[3] [ネットワーク設定] をクリックします。



[4] [ユーザ名] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。



お買い上げ時のユーザ名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

[5] 必要に応じて、プリントサーバの設定を変更します。

### ●QL-580N 本体のプリンタ設定一覧を印刷する

本製品の設定値を一覧で表示した「プリンタ設定一覧」を印刷します。

QL-580N 本体のネットワーク設定等を含むプリンタ設定一覧を確認することができます。

[1] 本製品の電源ボタンを OFF にします。

[2] DK ロールがセットさせていることと、ロールカバーが閉じていることを確認します。

プリンタ設定一覧を印刷するためには (62mm) DK ロールを使用します。

[3] 本製品の電源ボタンを ON にします。

[4] カットボタンを 3 秒以上押し続けます。

プリンタ設定一覧が印刷されます。

### ●QL-580N 本体のネットワーク設定をリセットする

パスワードや IP アドレス情報など、すでに設定しているネットワークのすべての情報をリセットします。

APIPA (AutoIP) 機能を有効な状態でネットワーク設定をリセットする。

[1] 本製品の電源ボタンを OFF にします。

[2] ロールカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

[3] 電源ボタンを押したままで 2 秒待ち、そのままカットボタンを 2 回押します。

すべてのネットワーク設定がリセットされます。

APIPA (AutoIP) 機能を無効な状態でネットワーク設定をリセットする。

[1] 本製品の電源ボタンを OFF にします。

[2] ロールカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認します。

[3] 電源ボタンを押したままで 2 秒待ち、そのままカットボタンを 4 回押します。

すべてのネットワーク設定がリセットされます。

ネットワークの詳細設定については、QL-580N のネットワーク設定ガイドをご参照下さい。

リンク先：

[http://solutions.brother.co.jp/public/doc/manual\\_top.html?prod=es\\_ql580n.jp](http://solutions.brother.co.jp/public/doc/manual_top.html?prod=es_ql580n.jp)

Notes .....

ー 但し、ここで提供する情報はお客様の環境で同様の結果が得られることを保証するものではありません。

また掲載している内容については、当社が保証するものではありません。

## 2. 3. Linux ディストリビューションの設定に関する注意事項

### 2. 3. 1. SELinux を搭載したディストリビューションへの対応について

本プリンタドライバは、SELinux には対応していません。印刷時にエラーで実行できない場合は、SELinux を無効に設定してください。

#### Notes .....

— SELinux の詳細に関しては、ディストリビューション提供元へご相談ください。

## 2. 4. アンインストール手順

Appendix D の各種ファイルを、手動で削除してください。

### 3. アプリケーションを用いてラベルを作成する

#### 3. 1. アプリケーション (OpenOffice.org) の使用について

本マニュアルでは、Linux ディストリビューションに広く普及しているアプリケーションである、OpenOffice.org から QL-580N プリンタへの印刷方法について説明します。

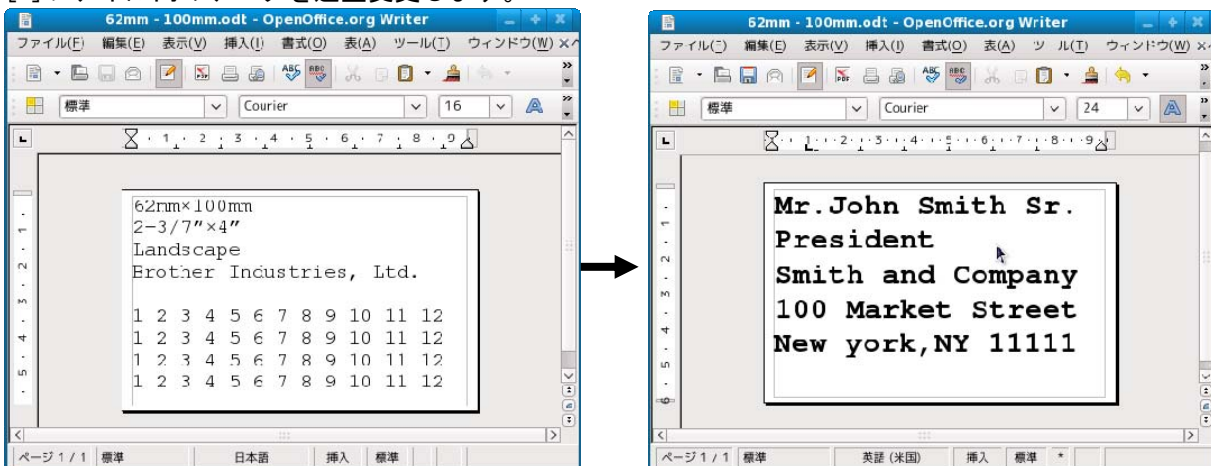
OpenOffice.org から QL-580N プリンタへ印刷を行う場合、レイアウトにおいて「用紙サイズ」「余白」の設定を行う必要があります。本ソフトウェアでは、Writer、Calc について、「用紙サイズ」「余白」が設定済みであるテンプレートを提供します。

#### 3. 2. アプリケーション (OpenOffice.org Writer、Calc) からの印刷方法

例として、Writer 向け 62mm×100mm、横方向テンプレートを使用する方法を説明します。

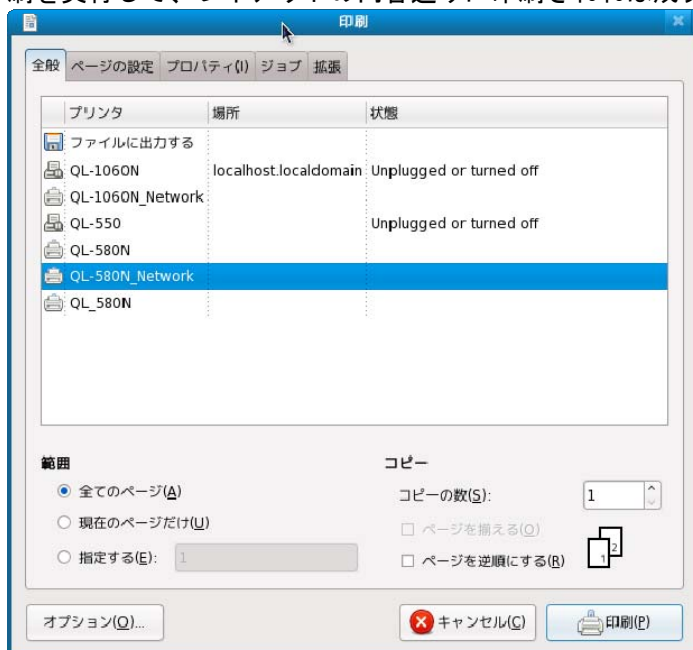
[1] 「62mm×100mm.doc」 ファイルをコピーの上、OpenOffice.org Writer から開きます。

[2] ファイル内のデータを適宜変更します。



[3] 印刷ダイアログを開きます。ここで、プリンタを設定します。

印刷を実行して、レイアウトの内容通りに印刷できれば成功です。



[図 1] 印刷ダイアログ

## Appendix A. プリンタのプロパティ

CUPS Web 管理サイト (<http://localhost:631>) 上にて、設定可能なプリンタのプロパティについて説明します。

**プリンタオプションの設定**

ホーム 管理 クラス ドキュメント/ヘルプ ジョブ プリンタ

---

### QL-580N: Media

Media Size: 29mm x 90mm  
Feed(invalid for Die-Cut tape): 3 mm  
プリンタオプションの設定

---

### QL-580N: General

Cut every: 1 label  
Cut at end: ON  
Mirror Printing: OFF  
Quality: Give priority to print speed  
Resolution: Normal(300 \* 300dpi)  
Start printing: Immediately after starting to receive data  
Halftone: Error Diffusion  
Brightness: 0  
Contrast: 0  
プリンタオプションの設定

---

### QL-580N: バナー

開始バナー: none  
終了バナー: none  
プリンタオプションの設定

---

### QL-580N: ポリシー

エラーポリシー: stop-printer  
操作ポリシー: default  
プリンタオプションの設定

The Common UNIX Printing System, CUPS, and the CUPS logo are the trademark property of Apple, Inc. CUPS is copyright 2007 by Apple Inc. all rights reserved.

完了

#### (1) テープ幅 / Media Size

選択可能なテープ幅 (12~62mm ロール、ダイカットテープ) がコンボボックスにセットされる。

規定値: 29mm x 90mm

17mm x 54mm	2/3"x2-1/8"
17mm x 87mm	2/3"x3-7/16"
23mm x 23mm	10/11" x 10/11"
29mm x 90mm	1-1/7"x3-1/2"
38mm x 90mm	1-1/2"x3-1/2"
39mm x 48mm	1-1/2" x 1-8/9"
52mm x 29mm	2" x 1-1/7"
62mm x 29mm	2-3/7"x1-1/7"
62mm x 100mm	2-3/7"x4"
12mm Dia	1/2" Dia
24mm Dia	1" Dia
58mm Dia	2-1/3" Dia
12mm	1/2"
29mm	1-1/7"
38mm	1-1/2"
50mm	2"
54mm	2-1/8"
62mm	2-3/7"
12mm x 2	1/2" x 2
29mm x 2	1-1/7" x 2
38mm x 2	1-1/2" x2
50mm x 2	2" x2
54mm x 2	2-1/8" x2
62mm x 2	2-3/7" x 2
12mm x 3	1/2" x 3
29mm x 3	1-1/7" x 3
38mm x 3	1-1/2" x3
50mm x 3	2" x3
54mm x 3	2-1/8" x3
62mm x 3	2-3/7" x 3
12mm x 4	1/2" x 4
29mm x 4	1-1/7" x 4
38mm x 4	1-1/2" x4
50mm x 4	2" x4
54mm x 4	2-1/8" x4
62mm x 4	2-3/7" x 4

mm 版の場合

inch 版の場合

## (2) 左右余白 / Feed

選択可能な左右余白（3～30mm）がコンボボックスにセットされる。通常テープの場合は 3mm をデフォルトとする。

(3) 指定枚数ごとにカット / Cut every

リストコントロールで指定された枚数を、印刷するごとにオートカットする。

リストコントロールの規定値は 1 label。

(4) 最後をカット / Cut at end

最後のラベルをカットする。規定値はチェックあり。

## (5) ミラー印刷 / Mirror Printing

ミラー印刷する。

規定値はチェックなし。

## (6) 品質 / Quality

速度優先（Give priority to print speed）と品質優先（Give priority to print quality）から選択する。

規定値は速度優先。

(7) 解像度 / Resolution

[300 x 300 dpi]と[300 x 600 dpi]から選択する。初期設定は[300 x 300 dpi]。

(8) 印刷開始 / Start printing

データを受信し始めたらずちに印刷を開始する(Immediately after starting to receive data)[逐次印刷]と一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する (After one page of data is received) [バッファリング印刷]から選択する。

初期設定は、データを受信し始めたらずちに印刷を開始する(Immediately after starting to receive data) [逐次印刷]

※ポートが USB ポートの場合のみ有効。

(9) ハーフトーン / Halftone

単純2値/Binary、ディザ/Dither、誤差拡散/Error Diffusion から選択する。デフォルトは誤差拡散/Error Diffusion。

(10) 明るさ / Brightness

現在値から50%の範囲で変更する。この効果はサンプルに反映される。デフォルトは0である。

(11) コントラスト / Contrast

現在値から50%の範囲で変更する。この効果はサンプルに反映される。デフォルトは0である。

## Appendix B. 用紙(ラベルフォーマット)の追加方法

無定長(12mm、29mm、38mm、50mm、54mm、62mm)ラベルに対して、長さを設定して印刷したい場合は用紙(ラベルフォーマット)を追加して使用します。

用紙(ラベルフォーマット)の追加は、コマンドラインから行います。

用紙(ラベルフォーマット)の追加は、ツール「brpapertoollpr\_q1580n」(QL-580Nの場合)を使用して行います。このツールは、ライバinstool時に合わせてインストールされ、以下のフォルダ先に収録されます。

フォルダ先 : [usr]-[bin]

追加方法:

```
brpapertoollpr_q1580n [-P プリンタ名] [-n ラベルフォーマット名] [-w 用紙幅(mm)] [-h 用紙高さ(mm)]
```

削除方法:

```
brpapertoollpr_q1580n [-P プリンタ名] [-d ラベルフォーマット名]
```

[-P プリンタ名]: ユーザーが定義したプリンタ名

[-n ラベルフォーマット名]: 追加したラベルフォーマット名の用紙幅と高さは、PPD ファイルに追加されます。(もし既に同じラベルフォーマット名が存在する場合は、古いパラメータが新しいパラメータに更新されます)

[-w 用紙幅(mm)]: ラベルフォーマットの用紙幅を定義します。(単位:mm)

[-h 用紙高さ(mm)]: ラベルフォーマットの用紙高さを定義します。(単位:mm)

[-d ラベルフォーマット名]: ラベルフォーマットを PPD ファイルから削除します。

<例>

[1]QL-580N プリンタ、62mm 無定長ラベルについて、新しいラベルフォーマットを追加します。

Root 権限を使用する必要があります。

[2]ラベルフォーマットを追加する場合:

ラベルフォーマット名を「format6262」、用紙幅を「62(mm)」、用紙高さを「62(mm)」に設定します。

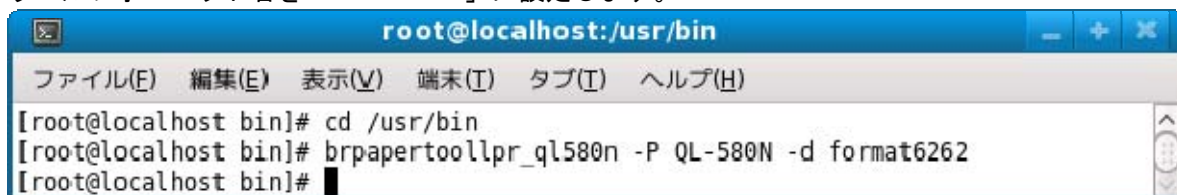


```

root@localhost:/usr/bin
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(T) ヘルプ(H)
[root@localhost usr]# cd /usr/bin
[root@localhost bin]# brpapertoollpr_q1580n -P QL-580N -n format6262 -w 62 -h 62
[root@localhost bin]#
  
```

[2]ラベルフォーマットを削除する場合:

ラベルフォーマット名を「format6262」に設定します。



```

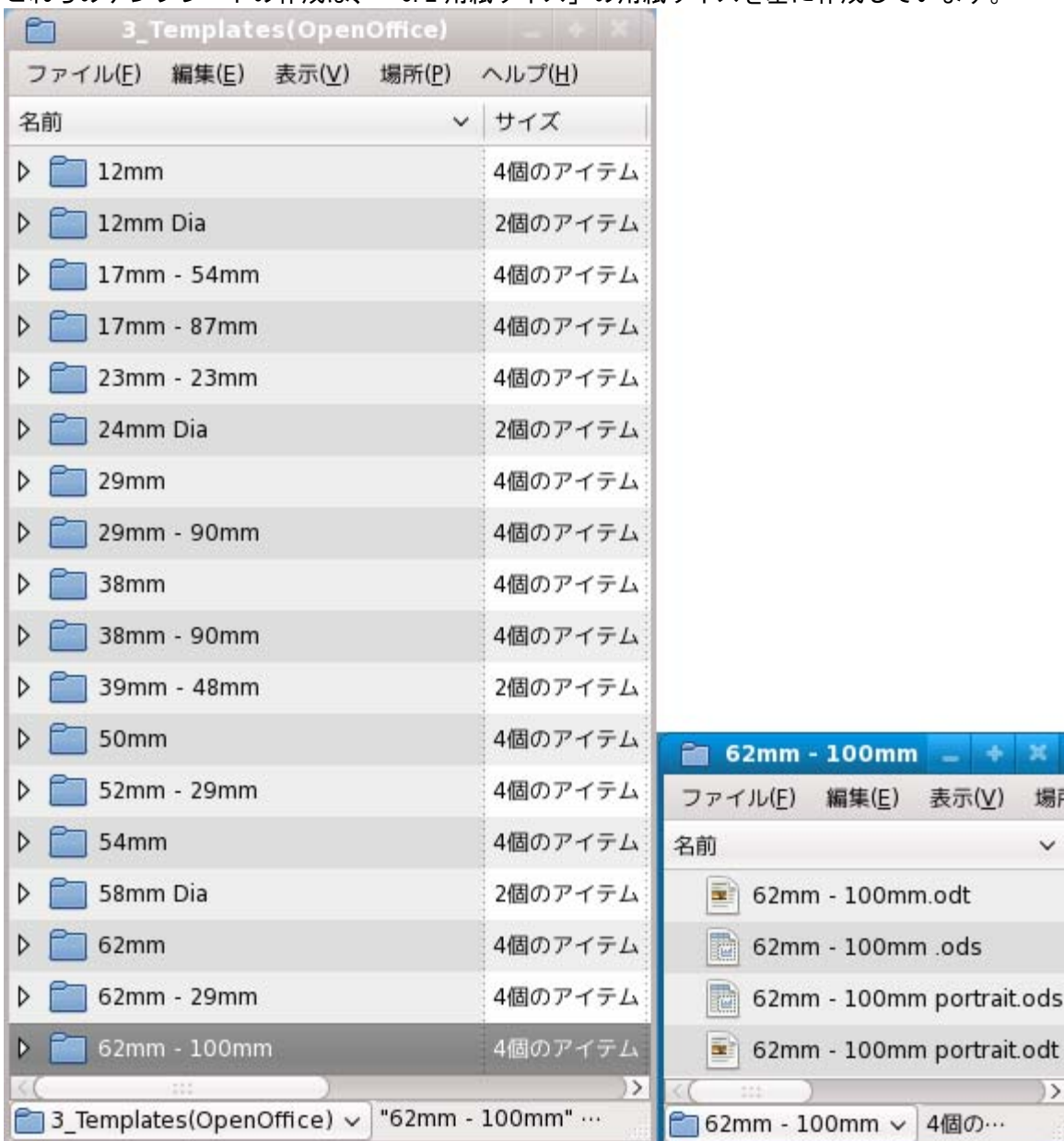
root@localhost:/usr/bin
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(T) ヘルプ(H)
[root@localhost bin]# cd /usr/bin
[root@localhost bin]# brpapertoollpr_q1580n -P QL-580N -d format6262
[root@localhost bin]#
  
```

## Appendix C. Open Office.org Writer、Calc 用テンプレートについて

### C. 1. Open Office.org Wrier、Calc 用テンプレートについて

Open Office.org から QL-580N プリンタへ印刷する場合は、レイアウトにおける「用紙サイズ」「余白」を設定する必要があります。ここでは、Writer、Calcについて、それぞれ縦方向および横方向のテンプレートを用意しています。テンプレートは以下のとおりです。

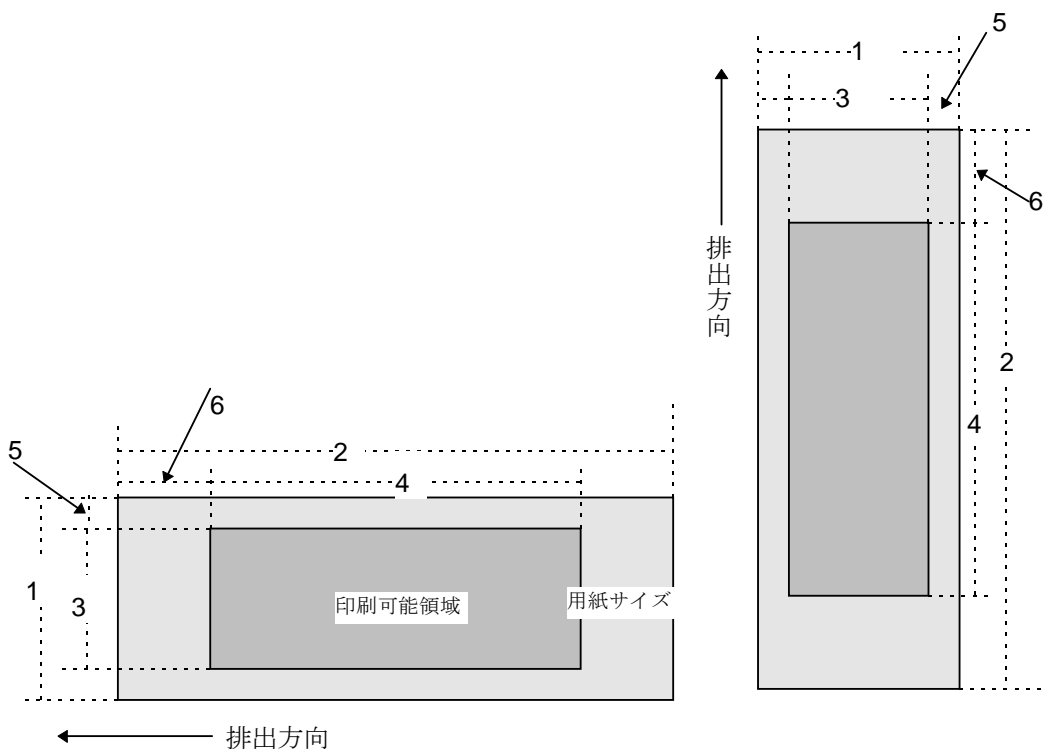
これらのテンプレートの作成は、「C. 2 用紙サイズ」の用紙サイズを基に作成しています。





C. 2. 用紙サイズ

C. 2. 1. 無定長ロールサイズ



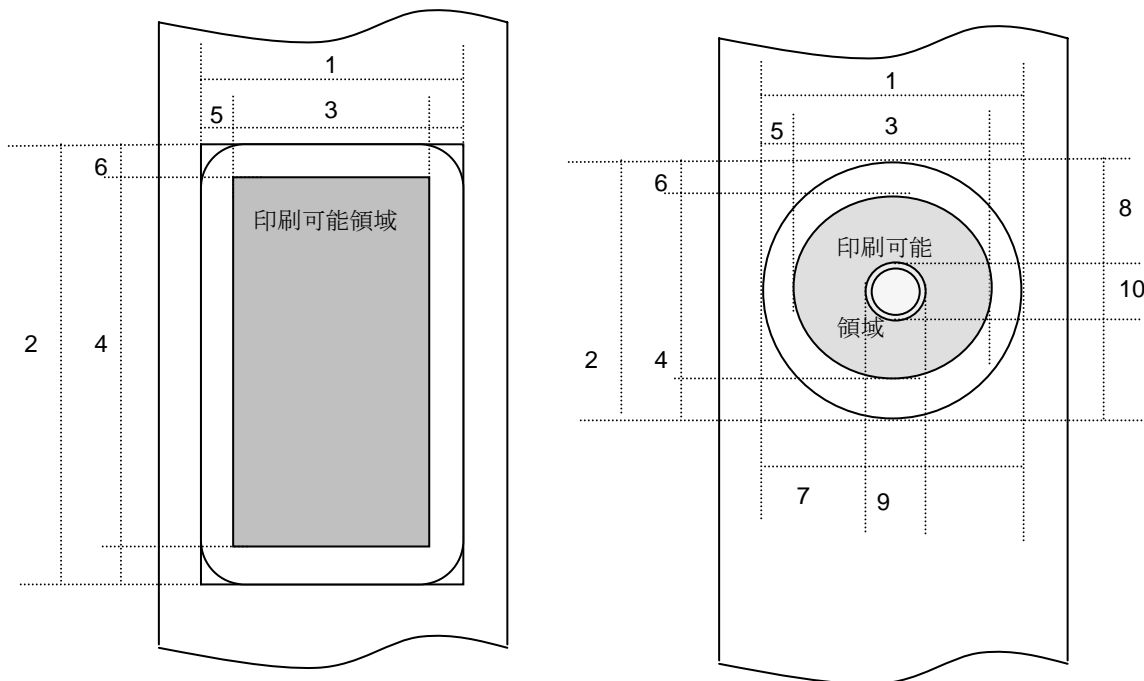
Landscape

Portrait

番号 1 幅 2 長さ  
 3 印刷可能領域幅(最大印字幅) 4 印刷可能領域長さ  
 5 幅方向オフセット 6 長さ方向オフセット

ID	ロール種類	表記	1	2	3	4	5	6
257	12mm	12mm 1/2"	12.02 mm 142 dots	→3. 2. 4	8.97 mm 106 dots	→3. 2. 4	1.5 mm 18 dots	→3. 2. 3
258	29mm	29mm 1-1/7"	28.96mm 342 dots	→3. 2. 4	25.91 mm 306 dots	→3. 2. 4	1.5 mm 18 dots	→3. 2. 3
264	38mm	38mm 1-1/2"	38.0mm 449 dots	→3. 2. 4	35.0mm 413 dots	→3. 2. 4	1.5 mm 18 dots	→3. 2. 3
262	50mm	50mm 2"	50.0 mm 590 dots	→3. 2. 4	46.9 mm 554 dots	→3. 2. 4	1.5 mm 18 dots	→3. 2. 3
261	54mm	54mm 2-1/8"	53.8mm 636 dots	→3. 2. 4	50.0mm 590 dots	→3. 2. 4	1.9mm 23 dots	→3. 2. 3
259	62mm	62mm 2-3/7"	61.98mm 732 dots	→3. 2. 4	58.93mm 696 dots	→3. 2. 4	1.5 mm 18 dots	→3. 2. 3

C. 2. 2. ダイカットラベル



番号

1 幅

2 長さ

3 印刷可能領域幅 (最大印字幅)

4 印刷可能領域長さ

5 幅方向オフセット

6 長さ方向オフセット

7 マスク領域幅方向オフセット

8 マスク領域長さ方向オフセット

9 マスク領域幅方向サイズ

10 マスク領域長さ方向サイズ

ID	表記	1	2*1	3	4*1	5	6*1
269	17mm x 54mm 2/3" x 2-1/8"	17.02mm 201 dots	53.85mm 636 dots	13.97mm 165 dots	47.92mm 566 dots	1.5 mm 18 dots	3.0 mm 35 dots
270	17mm x 87mm 2/3" x 3-7/16"	17.02mm 201 dots	86.87mm 1026 dots	13.97mm 165 dots	80.94mm 956 dots	1.5 mm 18 dots	3.0 mm 35 dots
370	23mm x 23mm 10/11" x 10/11"	23.03mm 272 dots	23.03mm 272 dots	19.99mm 236 dots	17.10mm 202 dots	1.5 mm 18 dots	3.0 mm 35 dots
271	29mm x 90mm 1-1/7" x 3-1/2"	28.96mm 342 dots	89.83mm 1061 dots	25.91mm 306 dots	83.90mm 991 dots	1.5 mm 18 dots	3.0 mm 35 dots
272	38mm x 90mm 1-1/2" x 3-1/2"	38.01mm 449 dots	89.83mm 1061 dots	34.97mm 413 dots	83.90mm 991 dots	1.5 mm 18 dots	3.0 mm 35 dots
367	39mm x 48mm 1-1/2" x 1-8/9"	39.0mm 461 dots	47.8mm 565 dots	36.0mm 425 dots	41.9mm 495 dots	1.5mm 18 dots	3.0mm 35 dots
374	52mm x 29mm 2" x 1-1/7"	52.0mm 614 dots	28.9mm 341 dots	48.9mm 578 dots	22.9mm 271 dots	1.5mm 18 dots	3.0mm 35 dots
274	62mm x 29mm 2-3/7" x 1-1/7"	61.98mm 732 dots	28.87mm 341 dots	58.93mm 696 dots	22.94mm 271 dots	1.5 mm 18 dots	3.0 mm 35 dots
275	62mm x 100mm 2-3/7" x 4"	61.98mm 732 dots	99.82mm 1179 dots	58.93mm 696 dots	93.90mm 1109 dots	1.5 mm 18 dots	3.0 mm 35 dots
362	12mm Dia 1/2" Dia	12.02mm 142 dots	12.02mm 142 dots	7.96mm 94 dots	7.96mm 94 dots	2.0 mm 24 dots	2.0 mm 24 dots

ID	表記	1	2 *1	3	4 *1	5	6 *1
363	24mm Dia 1" Dia	24.04mm 284 dots	24.04mm 284 dots	19.98mm 236 dots	19.98mm 236 dots	2.0 mm 24 dots	2.0 mm 24 dots
273	58mm Dia 2-1/3" Dia	58.25mm 688 dots	58.25mm 688 dots	52.32mm 618 dots	52.32mm 618 dots	3.0 mm 35 dots	3.0 mm 35 dots

ID	7	8 *1	9 *2	10 *1*2
273	21.17mm 232 dots	21.08mm 232 dots	19.0mm 224 dots	19.0mm 224 dots

\*2 16mm の径に、幅方向 3mm(1.5mmx2)、長さ方向 3 mm(1.5mmx2)の余白がついている。

### C. 2. 3. 最大・最小長

最大長と最小長を定義する。

種別	最小長	最大長
ロール	12.7mm 150 dots	1000mm 11811 dots
ダイカット	固定	固定

## Appendix D. QL-580N 用 Linux ドライバのファイル構成について

### D. 1. インストーラのファイル構成

Fedora Core (RPM 系) の場合

名称	単位系	ファイル名
LPR用ドライバ	-	Ql580nlpr-1.0.0-1.i386.rpm
CUPS Wrapperドライバ	mm	ql580ncupswrapper-1.0.0-1.redhat.i386.rpm
	inch	ql580ncupswrapper inch-1.0.0-1.redhat.i386.rpm

Debian (Debian 系) の場合

名称	単位系	ファイル名
LPR用ドライバ	-	ql580nlpr-1.0.0-1.i386.deb
CUPS Wrapperドライバ	mm	ql580ncupswrapper-1.0.0-1.debian.i386.deb
	inch	ql580ncupswrapper inch-1.0.0-1.debian.i386.deb

### D. 2. ドライバのファイル構成について

RPM 系の場合

名称	機能	ファイル名
LPR用ドライバ	ドライバ本体	(1) /usr/bin/brpapertoollpr_ql580n (2) /usr/bin/brprintconfpt1_ql580n (3) /usr/bin/brps2ps_ql580n (4) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/inf/brPrintListpt1 (5) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/inf/brql580nfunc (6) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/inf/brql580ninit (7) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/inf/brql580nrc (8) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/inf/paperinfql580npt1 (9) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/inf/setupPrintcappt1 (10) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/lpd/brpapertoolcups (11) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/lpd/brusb_ql_lpr brserial_ql580n (12) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/lpd/filterql580n (13) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/lpd/psconvertpt1 (14) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/lpd/rastertobrpt1
CUPS Wrapper	CUPS Wrapper	(1) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/cupswrapper/brcupsconfpt1 (2) /usr/local/Brother/PTouch/ql580n/cupswrapper/cupswrapperql580npt1 (3) /usr/lib/cups/filter/brlpdwrapperql580n (4) /usr/share/cups/model/brql580n.ppd (5) /usr/lib/cups/backend/brusb_ql580n brserial_ql580n
関連ファイル		(1) /etc/cups/ppd/[プリンタ名].ppd

## Debian 系の場合

名称	機能	ファイル名
LPR用ドライバ	ドライバ本体	(1) /usr/bin/brpapertoollpr_q1580n (2) /usr/bin/brprintconfpt1_q1580n (3) /usr/bin/brps2ps_q1580n (4) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/inf/brPrintListpt1 (5) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/inf/brq1580nfunc (6) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/inf/brq1580ninit (7) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/inf/brq1580nrc (8) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/inf/paperinfq1580npt1 (9) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/inf/setupPrintcappt1 (10) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/lpd/brpapertoolcups (11) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/lpd/brusb_q1_lpr brserial_q1580n (12) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/lpd/filterq1580n (13) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/lpd/psconvertpt1 (14) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/lpd/rastertobrpt1
CUPS Wrapper	CUPS Wrapper	(1) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/cupswrapper/brcupsconfpt1 (2) /usr/local/Brother/PTouch/q1580n/cupswrapper/cupswrapperq1580npt1 (3) /usr/lib/cups/filter/brlpdwrapperq1580n (4) /usr/share/cups/model/brq1580n.ppd /usr/share/ppd/brq1580n.ppd (上記のフォルダが存在する場合に、ppdファイルを作成する) (5) /usr/lib/cups/backend/brusb_q1580n brserial_q1580n
関連ファイル		(1) /etc/cups/ppd/[プリンタ名].ppd (2) /var/lib/dpkg/info/q1580n*

## Appendix E. その他

### E.1. MFC 対応 Linux ドライバについて

最新のサポート情報は、以下のリンク先を参考にしてください。

リンク先：

<http://solutions.brother.co.jp/support/os/linux/index.html>

[http://solutions.brother.com/linux/en\\_us/index.html](http://solutions.brother.com/linux/en_us/index.html)